

わたしたちの未来をつくる

とよなか夢基金

平成 29 年度(2017 年度)助成金交付事業



大学生グループ「ISAP」によるフィリピンクイズタイム

地域の子育て力を上げる

「多世代交流」プロジェクト

だんらん
団欒長屋プロジェクト



事業概要

「だんらんしんぶん」の発行をはじめとする様々なイベント・講座など、総合的でより実践的な多世代交流活動を通して、当団体だけで完結しない「地域の子育て力上げる」というテーマに取り組んでいます。

助成予定 400,000 円



紙面を作る子ども記者をサポートするボランティア大学生



バナナを春巻きの皮で包んで揚げる「トロン」

梅雨晴れの 6 月 24 日

(土)。蛍池西町にある長屋風の一軒家に集まった小学生 11 人は、30 度を超えた蒸し暑さの中でも元気いっぱい。「だんらんしんぶん」

11 号の編集会議を行う子ども記者です。積極的に意見を出し合い、担当に分かれて紙面づくりに励みます。

とよなか夢基金助成を受けて始まった「だんらんしんぶん」は創刊から 4 年経ちました。「だんらんしんぶん」と共に成長する子どもたち。自分よりも小さな子を見守る子、高学年のお兄ちゃんやお姉ちゃんを慕う子…、まるで兄弟のようなほほ笑ましい光景です。様々な年代と関わるなかで社会性を学び、年齢を超えてお互いを認めあい、信頼関係を築いています。

団欒長屋プロジェクトでは、体験を通して学ぶ機会

を用意しています。今回のテーマは、異文化体験。国際交流団体 ISAP^{アイザップ}で活動する大学生を招き、フィリピンの風土や文化を紹介してもらいました。

「今日の気温は」「便器はどれ」など三択クイズに子どもたちは興味津々。その後、大阪在住のフィリピン人・メリアンさんと「トロン」と呼ばれる地元のおやつをつくりました。「バナナとろつとあまい」「おいしいね」と、仲良く食べました。メリアンさんを招いたのは、代表の渚上桃子さんが豊中市内のイベントで知り合いになったのがきっかけ。「出会いを大切に、様々な分野の人と協働して活動の輪を広げていきたいですね」。

8 月 19 日は、地域の方も参加できる流しそうめん大会を行う予定です。